

毎週新しいレポートをお配りしています。ぜひ来週もお受け取り下さい。



無所属・市民派 無駄遣いを許さない福祉充実の政治

発行者：さいたま 変革の会

川村 準

じゅん

週間活動レポート

1月5日号

〒336-0017
南区南浦和2-28-9-102
携帯 090-1404-2151
junkawamura1923@gmail.com

政務活動費

H市議の不正疑惑 裁判所で正否を問いただします！

明けましておめでとうございます。今年も市を良くするため活動します！さて、野々村竜太郎・前兵庫県議の号泣会見で表面化した政務活動費の不正使用。このさいたま市でも、不自然な政務活動費の使い方をしているH市議を私が見つけ、市の監査委員に監査を依頼しました（住民監査請求）。残念ながら、結果は棄却でしたが、監査委員も「年度末における郵便切手の大量購入を積極的に適正であると認めたわけではない」とH市議の使い方に疑義を呈しました。その後、私が調べた結果をもとに、やはりH市議の使い方はおかしい、ということで、住民訴訟を起きました。

可能性が強い、の2点です。

（注）市議会議員に給与とは別に支払われる公金。政策の勉強や政治活動に当てることが出来、さいたま市議の場合は給与が年間約1300万円、政務活動費は年間408万円）

監査委員は①に関しては、H市議は区外や市外にトの市内配送目的にも市政レポートを郵送した、と主張しています。しかし、政

市議の政務活動費の是非について私が住民訴訟を起こしました。皆様の税金がかしく使われないよう、しっかりと考え方を訴えています。

H市議の政務活動費（注）の不正使用疑惑とは、①年度末に切手を大量購入しているが、これは年度をまたいで政務活動費の使用であり

疑惑残るH市議

市外にレポ大量郵送の謎

②に関しては、H指針で「市政レポートの市内配送目的に

市議の政務活動費の是非について私が住民訴訟を起こしました。皆様の税金がかしく使われないよう、しっかりと考え方を訴えています。

の原則は、3月の光熱費を4月に支払う場合、年度をまたぐことが可能という意味で今回は原則から外れています。また、10月15日に

監査委員は①に関しては、H市議は区外や市外にトの市内配送目的にも市政レポートを郵送した、と主張しています。しかし、政

市議の政務活動費の是非について私が住民訴訟を起こしました。皆様の税金がかしく使われないよう、しっかりと考え方を訴えています。

放送）というテレビ局が、政務活動費の特集を行いました。さいたま市議会がインタビューを受けたのですが、そこで市議会の事務局が「当モノが年度内に使用していなくても許される、いわゆる「現金主義」の判断を示しました。しかし、そもそも「現金主義」の原則は、3月の光熱費を4月に支払う場合、年度をまたぐことが可能という意味で今回は原則から外れています。また、10月15日に

請求後に、市議会で切手の大量購入を認めない、と用途運用指針を改定したことからもH市議による年度末の切手大量購入は問題あります。

毎週新しいレポートをお配りしています。ぜひ来週もお受け取り下さい。



【お知らせ】★『①「おおきな会」の事務所』
『おおきな会』は、南区南浦和（場所は南区南浦和）で、毎週2回くらいの頻度で更新されていますので、是非ご覧下さい。URLは⑤のウェブサイトからお願いします。

★『②チラシの編集会議』
月17日（土）の16時から17時に開催予定です。直近はチラシの編集会議を開きます。チラシの編集会議を

では、ご関心のある方はどなたでも無料で大歓迎ですので、是非ご参加ください。（緊急で日にちが変わることもありますので、参加ご希望の方はあらかじめ

が変わることもありますので、参加ご希望の方はあらかじめ私の電話番号（090-1404-1215）にメールアドレス（junkawa@mail.co.jp）までご一報いただければ幸いです。

★『③出前川村』
「出前川村」を始めました。市に関する疑問や川村准と一緒に度喋つてみたいという方がいらっしゃいました。市に關しての質問や川村准と一緒に度喋つてみたいとい

うになりました。毎週駅前を中心として毎週駅前を中心とした

★『④過去のチラシ配送』
「さいたま変革の会」では、毎週平日は南区内の駅で6時30分から9時00分までチラシを配っております。

★『⑤ウェブサイト配信』
「さいたま変革の会」のホームページを作成しました。URLはjunkaka.wamura.ji.mdo.comで、①の電話かメールアドレスまでご連絡をいただければ、無料でご自宅まで過去のチラシを配達させていただきます。

「さいたま変革の会」代表 川村準のプロフィール

じゅん

1987年11月生まれの27歳。
旧・浦和市の大牧小学校、尾間木中学校、都内の私立・順天高校を卒業後、渡米。2007年ノースイースタン州立大学（米国・オクラホマ州）に入学し、歴史を専攻。留学中に、米国人を始め自国の文化に誇りを持つ多数の外国人と触れ合い、日本のあり方を考える機会に。2011年に卒業後、浦和に戻り、工業系新聞の記者になりました。記者の調査能力を生かして、市政の問題点を勉強しています。